

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有 区分	文献	症例	適正 使用	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Cell 2005;121(2):195-206	異常プリオン蛋白質をIn vitroで生成することができ、プリオン伝播が蛋白質のみにより起こる仮説を支持する強力な証拠と考えられる研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Ministry of Health/Welfare and Sport/Press release, 22/04/2005	オランダで最初のvCJD患者について。
2005/6/15	50231	ワイス株式会社	ポルフィマーナトウム	ポルフィマーナトリウム	ブタ血液	オランダ	有効成分	有	無	無	E型肝炎	厚生労働省食安監発第1129001号	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	IDWR感染症週報2004年第47週	E型肝炎の感染経路、症状、規制、発生動向、直近の累積報告数、感染源などについて。
											サルモネラ	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12):2225-7	異型の鼠チフス菌について、非経口の動物-動物間及び動物-ヒト間の接触感染が示唆された。
											ニパウイルス	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12):2228-30	1998年のマレーシアで集団発生したブタからこれまで報告されていなかった株を含むニパウイルスが分離され分子解析された。
2005/6/17	50232	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	有	無	HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											HIV	IASR(共同通信2004年12月3日)	在日外国人のHIV-2型感染が確認された。
											エルシニア感染	ICUとCCU2005;9(2):45-9	輸血によりエルシニア感染し死亡した症例。厚生労働省へは報告済み。
											マラリア	ABC newsletter 2004年12月3日	米国疾病管理予防センターは、ドミニカ共和国のアルタグラシア州およびデュアルテ州を訪れた旅行者2名のマラリア感染報告を受け、旅行者に対する予防措置の勧告内容を拡大する。
											マラリア	CDC 2005年1月12日	国疾病対策予防センター(CDC)は、2004年12月26日に発生した大地震および津波の被災地域に居住する米国人に現在の健康上、安全上のリスクに関する情報を通知し、これらのリスクを最小限とするために講じる措置についてのガイダンスを提供する。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											マラリア	ProMed20050325-0070(Daily Times 3月24日)	パキスタンのカラチ市でマラリア感染が広がっている。
											マラリア	Vox Sanguinis 2005;88(3):200-1	現在のドナー選択がイライン基準を満たし、また8年間以上英国を出国していないガーナからの供血者による輸血マラリア感染
											トリパノソーマ症	ProMed2050402-0020(O Folha online)	ブラジルでサトウキビジュース摂取が原因とみられるトリパノソーマ集団感染発生した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004;24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrPSc)がin vitrolにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Neurology 2005;64(5):905-7	R208H変異がPrPscの特性や疾患の表現型には大きな変化を与えずに疾患感受性に影響を及ぼす。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proceedings of National academy Science 2005;102(9):3501-6	クロイツフェルト・ヤコブ病の診断には構造依存性免疫試験(CDI)を行うより正確に行える。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Clinical Microbiol 2005;43(3):1118-1126	レクチン(RCA)結合性を比較することでsCJDとvCJDのプリオンタンパク質が識別できる可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸がバリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040 (共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Yahoo health 2005年3月3日	モロッコで初めてvCJDの疑いのある患者が死亡した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2005 ;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカクザルのうち1頭は、BSE感染ウシ由来の脳ホモジネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は無症状であった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Genelal Virology 2005;86:1571-9	TSEの感染因子を運ぶ血液成分を特定することを目的にヒツジの血液細胞成分におけるPrPcの分布を検討した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2005;45(4):504-13	非常に高感度なDELFLIA及びフローサイトメトリーを用いてvCJD患者の血液中のPrP発現について。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosuveillance;10(16)2005年4月21日	オランダで初めてのvCJDの可能性のある症例が報告された。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR.Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											ウイルス感染	ProMed20050406-0080(MASTA Health Report 4月4日)	コモロ諸島で4ヶ月続いていた感染症の原因がチクングンヤウイルスであると判明した。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The Independent Bangladesh) Indendependent, Bangladesh, 11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											マールブルグ病	ProMed20050323-0100(Reuters Alertnet Foundation)	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
											マールブルグ病	CDC 2005年4月20日	CDCが発表したマールブルグ病に関する渡航者向けのガイダンス。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aabb)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005; 88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											B型肝炎	Eurosuveillance ;10(11)2005年3月17日	ベルギーとアメリカの老人ホームで採血器具の不適切な使用によりHBV感染が集団発生した。
											C型肝炎	Hepatology 2005;41(1):115-22	HCVの感染は肝疾患病棟、特に長期間の入院を要する患者において、患者から患者のルートで発生しているようである

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有 区分	文献	症例	適正 使用	感染症(PT)	出典	概要
											C型肝炎	J of Medical Virology 2005; 75(3): 399-401	英国において、麻酔の手順上、感染のおそれがない状況下で麻酔科医から患者にHCVが伝播した最初の報告である。このことから、輸血後HCV感染症の調査には、院内感染など輸血以外の伝播ルートについて考慮する必要がある
											E型肝炎	ProMed20041129- 0060(Daily Yomiuri 11月 28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004; 45 (Suppl3)日 本肝臓学会東部会講演 要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											HTLV	J of Infectious Diseases 2005 ;191(9):1490-7	ヒトリンパ球向性ウイルス(HTLV) - I とHTLV - II の性感染発生率を10年間に渡り追跡調査した結果。
2005/6/17	50233	日本赤十字社	人全血液	人全血液	人血液	日本	有効成分	有	無	無	HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											HIV	IASR(共同通信2004年 12月3日)	在日外国人のHIV-2型感染が確認された。
											エルシニア感染	ICUとCCU2005;9(2):45- 9	輸血によりエルシニア感染し死亡した症例。厚生労働省へは報告済み。
											マラリア	ABC newsletter 2004 年12月3日	米国疾病管理予防センターは、ドミニカ共和国のアルタグラシア州およびデュアルテ州を訪れた旅行者2名のマラリア感染報告を受け、旅行者に対する予防措置の勧告内容を拡大する。
											マラリア	CDC 2005年1月12日	国疾病対策予防センター(CDC)は、2004年12月26日に発生した大地震および津波の被災地域に居住する米国人に現在の健康上、安全上のリスクに関する情報を通知し、これらのリスクを最小限とするために講じる措置についてのガイダンスを提供する。
											マラリア	ProMed20050325- 0070(Daily Times 3月24 日)	パキスタンのカラチ市でマラリア感染が広がっている。
											マラリア	Vox Sanguinis 2005 ;88(3):200-1	現在のドナー選択がイドライン基準を満たし、また8年間以上英国を出国していないガーナからの供血者による輸血マラリア感染

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有 区分	文献	症例	適正 使用	感染症(PT)	出典	概要
											トリパノソーマ症	ProMed2050402-0020(O Folha online)	ブラジルでサトウキビジュース摂取が原因とみられるトリパノソーマ集団感染発生した。
											クロイツフェルト・ ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイビー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ ヤコブ病	Neurology 2005 ;64(5):905-7	R208H変異がPrP ^{Sc} の特性や疾患の表現型には大きな変化を与えずに疾患感受性に影響を及ぼす。
											クロイツフェルト・ ヤコブ病	Proceedings of National academy Science 2005;102(9):3501-6	クロイツフェルト・ヤコブ病の診断には構造依存性免疫試験(CDI)を行うより正確に行える。
											クロイツフェルト・ ヤコブ病	J of Clinical Microbiol 2005;43(3):1118-1126	レクチン(RCA)結合性を比較することでsCJDとvCJDのプリオンタンパク質が識別できる可能性がある。
											クロイツフェルト・ ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31 日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ ヤコブ病	ProMed20041124- 0040(AFP記事11月23 日)	フランスで9例目となるvCJD患者の類回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ ヤコブ病	Science 2004;306 (5702):1793-6	129位のアミノ酸がバリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ ヤコブ病	ABC newsletter 2004 年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。
											BSE	ProMed20050129- 0060(BBC News 1月28 日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿状脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204- 0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ ヤコブ病	ProMed20050205-0040 (共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Yahoo health 2005年3月3日	モロッコで初めてvCJDの疑いのある患者が死亡した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2005;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカケザルのうち1頭は、BSE感染ウシ由来の脳ホモジネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は無症状であった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of General Virology 2005;86:1571-9	TSEの感染因子を運ぶ血液成分を特定することを目的にヒツジの血液細胞成分におけるPrPcの分布を検討した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Transfusion 2005;45(4):504-13	非常に高感度なDELFLIA及びフローサイトメトリーを用いてvCJD患者の血液中のPrP発現について。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance;10(16)2005年4月21日	オランダで初めてのvCJDの可能性のある症例が報告された。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/GSR.Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											ウイルス感染	ProMed20050406-0080(MASTA Health Report 4月4日)	コモロ諸島で4ヶ月続いていた感染症の原因がチクングンヤウイルスであると判明した。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The Independent Bangladesh) Indendependent, Bangladesh, 11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
											マールブルグ病	ProMed20050323-0100(Reuters Alertnet Foundation)	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
											マールブルグ病	CDC 2005年4月20日	CDCが発表したマールブルグ病に関する渡航者向けのガイダンス。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aabb)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005;88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスグドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											B型肝炎	Eurosurveillance ;10(11)2005年3月17日	ベルギーとアメリカの老人ホームで採血器具の不適切な使用によりHBV感染が集団発生した。
											C型肝炎	Hepatology 2005;41(1):115-22	HCVの感染は肝疾患病棟、特に長期間の入院を要する患者において、患者から患者のルートで発生しているようである
											C型肝炎	J of Medical Virology 2005; 75(3): 399-401	英国において、麻酔の手順上、感染のおそれがない状況下で麻酔科医から患者にHCVが伝播した最初の報告である。このことから、輸血後HCV感染症の調査には、院内感染など輸血以外の伝播ルートについて考慮する必要がある
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	肝臓2004;45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											HTLV	J of Infectious Diseases 2005 ;191(9):1490-7	ヒトTリンパ球性ウイルス(HTLV) - I とHTLV - II の性感染発生率を10年間に渡り追跡調査した結果。
2005/6/7	50234	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	HIV	Eurosurveillance Weekly 2005;10(8)	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された
											HIV	IASR(共同通信2004年12月3日)	在日外国人のHIV-2型感染が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004;24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrPSc)がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機構に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Neurology 2005 ;64(5):905-7	R208H変異がPrPscの特性や疾患の表現型には大きな変化を与えずに疾患感受性に影響を及ぼす。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proceedings of National academy Science 2005;102(9):3501-6	クロイツフェルト・ヤコブ病の診断には構造依存性免疫試験(CDI)を行うより正確に行える。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Clinical Microbiol 2005;43(3):1118-1126	レクチン(RCA)結合性を比較することでsCJDとvCJDのプリオンタンパク質が識別できる可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸がバリンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											BSE	ProMed20050204-0030(EU press Rereases 2 Feb 2005)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明したことから、欧州委員会は、ヤギの検査数を4倍に増やす計画である
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20050205-0040(共同ニュース 2月4日)	本邦において初の変異型ヤコブ病(vCJD)患者が確認された。
											BSE	ABC newsletter 2005年2月11日	スコットランドにおいて、BSEに感染したヤギが1990年には存在していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Yahoo health 2005年3月3日	モロッコで初めてvCJDの疑いのある患者が死亡した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2005;365(9461):781-3	BSEが霊長類に経口伝播した場合に変異型クロイツフェルト・ヤコブ病として発症する可能性を検討した実験。使用した2頭のマカクザルのうち1頭は、BSE感染ウシ由来の脳ホモジェネートの経口摂取により神経症状を発症したが、もう1頭は無症状であった。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):686-91	呼吸器症状を示さず、脳炎と消化器症状を呈する高病原性トリインフルエンザA(H5N1型)の症例が報告された。
											ウイルス感染	ProMed20050406-0080(MASTA Health Report 4月4日)	コモロ諸島で4ヶ月続いていた感染症の原因がチクングンヤウイルスであると判明した。
											ニバウイルス	ProMed20041123-0030(The IndependentBangladesh) Indendependent,Bangladesh, 11月21日	ニバウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
											マールブルグ病	ProMed20050323-0100(Reuters Alertnet Foundation)	2005年3月23日、WHOはアンゴラ北部でアウトブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											マールブルグ病	CDC 2005年4月20日	CDCが発表したマールブルグ病に関する渡航者向けのガイダンス。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センターDr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aabb)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え供血者のエントリーを可能とするよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。
											B型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005; 88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											B型肝炎	J of General Virology 2005; 86: 595-9	本邦の献血者において、遺伝子型がHのHBV事例が初めて発見され、現行のNATスクリーニングで検出された。
											B型肝炎	Eurosurveillance ;10(11)2005年3月17日	ベルギーとアメリカの老人ホームで採血器具の不適切な使用によりHBV感染が集団発生した。
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004; 45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/6/20	50235	協和醱酵工業株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシの血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/6/20	50236	協和醱酵工業株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	米国	製造工程	無	無	無			
2005/6/20	50237	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	人フィブリノゲン	ヒト血液	米国	有効成分	無	無	無			
2005/6/20	50238	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	血液凝固第XIII因子	ヒト血液	米国	有効成分	無	無	無			
2005/6/20	50239	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	トロンピン	ヒト血液	米国	有効成分	無	無	無			
2005/6/20	50240	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物	無	無	無			
2005/6/20	50241	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	無	無	無			
2005/6/20	50242	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	不明(未発表)	製造工程	無	無	無			
2005/6/21	50243	中外製薬株式会社	インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血清	スイス	添加物	有	無	無	髄膜炎感染	CDC/MMWR 2005;54(21):537-9	臓器移植によるリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス感染に関する事例。
2005/6/21	50244	中外製薬株式会社	インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	ペプトン	ウシ乳	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/6/21	50245	中外製薬株式会社	インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	マウスモノクローナル抗体	マウス腹水	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/6/22	50246	日立化成工業株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	髄膜炎感染	Infectious Diseases Weekly Report Japan2004年第46週	細菌性髄膜炎の報告数が過去最高に達したとの報告。
											マイコプラズマ肺炎	Infectious Diseases Weekly Report Japan2004年第46週、48週、50週	マイコプラズマ肺炎の報告数が過去最高に達したとの報告。
											細菌性胃腸炎	Infectious Diseases Weekly Report Japan2004年第49週、50週、52週	感染性胃腸炎の報告数が増加しているとの報告。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会(2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性を示した研究。
											ムンプス	Infectious Diseases Weekly Report Japan2005年第1週	流行性耳下腺炎の発生状況について。
											HIV	Infectious Diseases Weekly Report Japan2005年第5週	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。
											HIV	The New York city department of health and mental hygiene, press release Feb 11 2005	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。薬剤耐性のエイズウイルス感染症が米国で確認された。
											細菌感染	Infectious Diseases Weekly Report Japan2005年第8週	44頭のカキガイザルが輸入され、うち4頭から細菌性赤痢菌が検出された。
											HIV	Infectious Diseases Weekly Report Japan2004年第16週	今期間における法定報告による新規のHIV感染者報告数について。
											サルモネラ	感染症学雑誌 2004;78(11) 989-90	日本においても多剤耐性Salmonella Newportが存在していることが確認された。
											E型肝炎	食品衛生研究 2005;55(2):49-51	冷凍シカ肉からE型肝炎ウイルスが検出された例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	国内における変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発生について
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年3月7日	平成17年3月7日に開催された薬食審・血液事業部会運営委員会において協議された当面の暫定措置。1996年までに英に1日以上滞在歴がある者の献血を制限等。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省医薬食品局長通知(薬食発第041016号)	採血時の欧州滞在歴に関する問診の強化及び今後の献血の推進について
											サルパルボウイルス	J of Infectious Diseases 2004;190(11):1900-7	サルのパルボウイルス病が潜在的な人畜共通の伝染病と認識することに関する研究。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/6/22	50247	持田製薬株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン(hMG)	下垂体性性腺刺激ホルモン(hMG)	ヒト(閉経期婦人)尿	中国	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance Weekly 2005;8(46)	アイルランド共和国において、英国滞在歴のないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことはないし、供血したこともない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会(2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性を示した研究。
											コロナウイルス感染	J of Infectious Diseases 2005;191(4):499-502	New Haven コロナウイルス(HCoV-NH)という新規のヒトコロナウイルスが典型的な川崎病の6ヶ月令の小児の呼吸器分泌液に存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒトヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											トリパノソーマ症	The Weekly Epidemiological Record 2005;80(7):61-4	インドにおける新型のヒトでのトリパノソーマ症の報告
											レトロウイルス	Reuters Foundation AlertNet,Newsdesk 26 Feb 2005	これまで人間では感染が認められていなかったレトロウイルス(HTLV-3及びHTLV-4)がカメルーンで日常的にサルを狩猟している人々から発見された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005;11(8):7-8	モロッコで最初のvCJD患者について。この男性は定期的にヨーロッパを訪問していた。
											マールブルグ病	WHO/GSR 2005年4月21日	2005年4月19日現在、アンゴラ保健省はマールブルグ出血熱症例266例を報告。うち239例は死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Seattle Post seattlepi.com news 21 Apr 2005	オランダで最初のvCJD患者について。
2005/6/22	50248	持田製薬株式会社	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance Weekly 2005;8(46)	アイルランド共和国において、英国滞在歴のないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことはないし、供血したこともない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会(2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性を示した研究。
											コロナウイルス感染	J of Infectious Diseases 2005;191(4):499-502	New Haven コロナウイルス(HCoV-NH)という新規のヒトコロナウイルスが典型的な川崎病の6ヶ月令の小児の呼吸器分泌液に存在していた。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強示唆された事例。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。
											トリパノソーマ症	The Weekly Epidemiological Record 2005;80(7):61-4	インドにおける新型のヒトでのトリパノソーマ症の報告
											レトロウイルス	Reuters Foundation AlertNet,Newsdesk 26 Feb 2005	これまで人間では感染が認められていなかったレトロウイルス(HTLV-3及びHTLV-4)がカメルーンで日常的にサルを狩猟している人々から発見された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report 2005;11(8):7-8	モロッコで最初のvCJD患者について。この男性は定期的にヨーロッパを訪問していた。
											マールブルグ病	WHO/CSR 2005年4月21日	2005年4月19日現在、アンゴラ保健省はマールブルグ出血熱症例266例を報告。うち239例は死亡。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Seattle Post seattlepi.com news 21 Apr 2005	オランダで最初のvCJD患者について。
2005/6/23	50249	三菱ウェルファーマ株式会社	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)注射剤	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	米国	製造工程	無	無	無			
2005/6/23	50250	三菱ウェルファーマ株式会社	アルテブラーゼ(遺伝子組換え)注射剤	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/6/28	50251	日本オルガノン株式会社	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	フォリトロピンベータ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血液、ウシ血液、ブタ臓腑抽出物、チャイニーズハムスター卵巣細胞	ニュージーランド、オーストラリア	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/6/28	50252	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血液	日本	無添加物	無	無	無			
2005/6/28	50253	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	マウスの腹水由来成分	マウスの腹水	アメリカ	製造工程	無	無	無			
2005/6/28	50254	武田薬品工業株式会社	注射用インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	ウシの乳由来成分	ウシの乳	オーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50255	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	ドナー仔牛血清	ドナー仔牛血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50256	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	ポリゼリン	ウシ骨抽出物	米国	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50257	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞	原本参照	有効成分	無	無	無			
2005/6/29	50258	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ胎仔血液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50259	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウマの脾臓、脛、ウシの心臓、脾臓及びブタのラドウォーターをブタのパンクレアチン及び	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50260	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ラドウォーター	ブタ	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50261	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタの胃液	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50262	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血清	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50263	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	D-ガラクトース	ウシの乳汁	米国	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50264	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	パンクレアチン	ブタの脾臓由来	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/6/29	50265	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	フェツイン	ウシの血清由来	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/6/29	50266	ワイス株式会社	エタネルセプト(遺伝子組換え)	①仔ウシ血清②ウシラステリン③チャイニーズハムスター卵巣細胞	①ウシ血液②ウシ血液③チャイニーズハムスター卵巣	①米国②ニュージーランド③不明	製造工程	有	有	有	BSE	Health Canada;18(2)14 Jan 2005	カナダにおける2頭目及び3頭目のBSE報告
											トリパノソーマ症	The Weekly Epidemiological Record 2005;80(7):61-4	インドにおける新型のヒトでのトリパノソーマ症の報告
2005/6/29	50267	バクスター株式会社	該当なし	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	中国	製造工程	無	有	無			
2005/6/29	50268	バクスター株式会社	該当なし	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ又はニュージーランド	有効成分・添加物	無	有	無			
2005/6/29	50269	バクスター株式会社	該当なし	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/29	50270	バクスター株式会社	該当なし	トロンピン	人血漿	米国	有効成分	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/29	50271	バクスター株式会社	該当なし	ヒト凝固性たん白質(フィブリノゲン加第XIII因子)	人血漿	米国	有効成分	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/29	50272	バクスター株式会社	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/29	50273	バクスター株式会社	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	人血漿	米国	有効成分	有	有	無	E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
2005/6/30	50274	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物・製造工程	有	無	無	E型肝炎	Transfusion 2004;44(6):934-40	海外渡航歴が全くない67歳の日本人男性患者が、23名のドナーからの輸血を受け、その後に原因不明の急性肝炎に罹患した。急性期の患者の血液サンプルの肝炎ウイルスマーカーを調べたところ、HEV抗体のIgMとIgGだけでなく、HEVのRNAも含んでいた。また、輸血したFFPユニットの1つからもHEV RNAを検出した。患者とドナーのPCR産物は、ORF1内の2つのHEVIに特長的な領域が完全な同一性を示した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	厚生労働省ホームページ H16年12月22日	国内(京都)で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関連して、防疫作業従事者等を対象に血清抗体価等の調査を行った結果、対照群と比較して抗体陽性率が高かった。このことから、長期にわたり組織的な感染防御なしに病鳥との接触や汚染環境との接触などが行われていたことから、個人防護具の着用なしに作業に従事していたことにより高率に感染が起こった可能性が示唆された。
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会 (2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性が示された。
											マールブルグ病	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	2005年3月23日、WHOはアソゴラ北部でアウブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。
2005/6/30	50275	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン 乾燥ペプリン処理人免疫グロブリン	ペプシン処理人免疫グロブリンG分属	ヒト血液	日本	有効成分	有	無	無	E型肝炎	Transfusion 2004;44(6):934-40	海外渡航歴が全くない67歳の日本人男性患者が、23名のドナーからの輸血を受け、その後に原因不明の急性肝炎に罹患した。急性期の患者の血液サンプルの肝炎ウイルスマーカーを調べたところ、HEV抗体のIgMとIgGだけでなく、HEVのRNAも含んでいた。また、輸血したFFPユニットの1つからもHEV RNAを検出した。患者とドナーのPCR産物は、ORF1内の2つのHEVに特長的な領域が完全な同一性を示した。
											A型肝炎	Transfusion 2004;44(11):1555-61	供血後にA型肝炎を発症した供血者血液の輸血によりHAVが伝播した。
											鳥インフルエンザウイルス	厚生労働省ホームページ H16年12月22日	国内(京都)で集団発生した高病原性鳥インフルエンザに関連して、防疫作業従事者等を対象に血清抗体価等の調査を行った結果、対照群と比較して抗体陽性率が高かった。このことから、長期にわたり組織的な感染防御なしに病鳥との接触や汚染環境との接触などが行われていたことから、個人防護具の着用なしに作業に従事していたことにより高率に感染が起こった可能性が示唆された。
											ロタウイルス陽性	第52回日本ウイルス学会 学術集会 (2004/11/21-23)	トリロタウイルスが人獣共通感染症の病原体である可能性が示された。
											マールブルグ病	CDC/MMWR 2005;54(Dispatch):1-2	2005年3月23日、WHOはアソゴラ北部でアウブレイクしたウイルス性出血熱の病原因子としてマールブルグウイルスを確定した。